# 京城新聞

## 妄言妄評（九）

粟獄生

▲統監府の職僚、各部の次官、之を換言すれば發興官途中に、人材として偉彩を放てるものありや、人は統監府には人材多しと然れども僕不幸にして未だ偉材を見出さず之れ僕の觀察非なるが爲に非ざる乎、試に人材諸君を列記するの榮を得せしよ、石塚君、鍋島君、木內君、岡君、荒井君、小宮君、倉富君此中より他日祖國の大臣となる人ありや否や、若しありとすれば、何人なる乎、僕の胸臆を遠慮なく披攊せしめば、未だ大臣たるの器を見ずと、斯く云へば諸君或は憤らん、されど之れ僕一個の私見に過ぎず、世人は諸君をより以上の人傑と觀察し居るやも知る可らず、

▲統監府官制を改革するならば總務長官は從て副統監を廢するを便宜とせずや、曾禰子を統監として總務長官に敏腕の人を迎へ所謂人材諸君を統一するを便宜とせざるや總務長官にては偉材を迎へ難しとならば、總務長官を廢して副統監を置くも可なり、其人物の選擇は如何、伊東巳代次か、大石正巳か、古賀廉造か、早川鐵か、と屈指し來るも適材なし、惟ふに却て軍人側にあるやも知る可らず、嗚呼人物拂底の世の中なる哉

▲殖民地に於ける官吏は極て平民的ならざる可らず、徒に官衙に立籠りて法制にのみ兀々たるが如き、偶々人民に接して役人風を吹かすが如きは極て禁物なり、而して殖民地は其名の如く殖民其者が本位なり、官吏は只此世話役なり、殖民は帝國發展の本尊なり、本尊は尊重せざる可らず、然るには違ひて本尊を外にして世話役たる自身を本位にするは非なり、世話役はなくも本尊は發達するなり、之に反して世話役のみにては對外經營は出來ざるなり、輕重自ら此間にあるなり、漫りに世話役たるの故を以て本尊を壓すべからず、若し此信條を守らざれば殖民策は成功せざるなり、世話役たるもの心して本尊の厚待を怠る可らず、ゆめ怠る勿れ、世話役諸君……、

▲殖民地の官吏に殖民の感念なきもの程困るものはなし、殖民地には多數の殖民を入るゝを勉めざる可らず、然るに此等の感念なく自己の意に適ふものは追ひ散らし、或る都合の爲には多數移民の來るを抑壓するが如き手段を取らば其殖民地の發達せざるは當然なり、西班牙及和蘭領の殖民地に斯る誤れる政策を取れる官吏の多かりしを聞く、帝國の殖民地には此弊害なき乎、

▲霖雨漸く止み、珍らしくも晴天を見るを得たり、暑氣甚だしと雖も快なり、連日の降雨は人を濕殺せしめんとせり、何物にも黴菌を生じさなきだに、不快なるに加へて運動不足食慾進まず、不快云ふべからざりき、前途は知らず、今日の青天人皆蘇色を古せるもの丶如し（一日稿）

## ●賊徒討伐情況

△春川東北峽路の東南沙坪里分遣隊長巳下六名は七月十九日沙坪里東方四里にて賊二名を捕へ銃二を鹵獲す△江原道洪川守備隊は七月十七日より廿三日に亘り洪川西方地區を檢索し賊五を捕へ洪川東方東倉の停止斥候は七月十八日より廿日に至る間洪川橫城郡界の地區を行動し賊二を捕へ銃三を押收す△忠淸南道鴻山分遣隊の上等兵以下四名は韓巡査一名を伴ひ七月廿一日廿三日の兩日に於て韓山郡內にて賊一名を殪し二を捕へ火繩銃一を鹵獲す△利川守備隊の上等兵巳下五名は七月十八日民地巖にて賊一名を斃す△黃海道新院守備隊は六月廿七日より七月六日に亘り該地附近にて賊二を殪し三を捕ふ銃四其の他雜品若干を鹵獲す又瑞纓臺分遣隊は七月一日其東方二里にて銃二を鹵獲す同黃海州守備隊は六月廿八日より七月八日に亘り郡內に於て賊三を捕へ銃十三を押收す又黃州守備隊は六月廿五廿六の兩日に於て遂寧山附近を搜索し賊二を殪し七月九日大灘北方二里に於て賊一を捕ふ又進安守備隊は六月二十六日より七月七日に亘り溫井院附近に於て賊二を殪し六を捕へ銃十七彈藥其他雜品を鹵獲す△平北渭原分遣隊は七月十九日渭原東南七里に於て賊十を討ち其七を殪す△黃海道遂安分遣隊の憲兵二補助員三は七月十一日遂安の北方約四里に於て賊二十餘と衝突し之を潰走せしむ賊の死傷不明銃一を鹵獲す△黃海道新院分遣所の憲兵三名は七月十七日十數名の賊と衝突し其二を殪し銃器三雜品若干を鹵獲す△公州西南方魯城分遣隊の憲兵一補助員三は七月廿四日郡內に於て賊一を捕へ銃二を鹵獲す△平壤東南方大水口分遣隊の憲兵は七月十三日三登東南方栗里に於て賊廿餘名を潰走せしめしも夜間の爲め其死傷詳かならず越へて十七日遂安郡に於て賊一を捕ふ△全北金堤分遣所の憲兵二名は七月廿日金堤郡內に於て銃器三火藥彈丸若干を押收す△慶尚北道寧海分遣隊の憲兵は七月廿五日月山附近に於て約七十の賊を討ち其九を殪し火繩銃廿三其他雜品を鹵獲す△全北興德駐在所巡査は七月廿九日賊の襲擊を受け之を擊退す賊の死傷未詳△平南慈山駐在所の韓巡査三に七月廿日郡內に於て賊一を捕ふ銃器四其他雜品を鹵獲す△忠南連山駐在所の巡査は七月廿一日郡內に於て賊一を捕ふ△黃海道長淵駐在所巡査七月十五日郡內に於て賊一を捕ふ

## ●位階の濫授

今回宮中に於て皇宗追尊の御式あり此の式に參加したる者には總て位階を授けられ其の人員百三十餘名に及び尚は彼等の祖先親屬の物故せし者に迄位階追贈をなす事となしたる由なるが元來勳章位階は其の授叙を謹むべきものなるに拘らず韓國に於ては時の權勢家が其の一族の榮華を誇るため宮中の儀式を好機として親戚故舊に此れが授叙を奏請するの弊あり昨年以來地方韓民は死せる韓人官人となり生ける日人官位に就く韓國の亡ぶる事ぞ當然なりとの流言ありし程にて近來は濫授の弊稍々止みたるの趣ありしに今回右の如く多數の叙位あり且つ被叙位者の死せる親戚に及ぶ事となりしより宮內大臣及び其の一派の不都合なる奏請に對し憤慨せるものありと云ふ

## 小說 新不如歸（七十）

篠原嶺葉著

さても哀れなは百合子の身の上である、其の一度不治の病に襲はれて、重き枕の床に就いてよりは、急に變つた容子こそなけれ、日毎に病氣は勢ひを增して、曾ては合ふほどの人、見る程の人の心を蕩した花の如き容色も、其の色も香も病と云ふ仇し風雨のために惱まされて、血の氣のありとも思へぬまで青白め艶麗とこそ云はれね、痩せ細りたる天性の美しさは、宛ら天津乙女の化身かとも疑はるゝ神々しさである、傍に見るさへ堪へられぬ程苦しさうな咳が出ると、終には鏽色を帶びた粘のある痰が出て、時には少しばかり赤い色さへ交つて居るゆゑ、槇子の心配は一方ならぬので、奈何か療養の方法と寺田醫學士に相談すれば大磯、逗子あたりへ轉地して湘南の清新の氣と暖氣とに靜養することこそ宜からんと云ふに、成程壯健の方にすら堪ゆ難き都會の冬は迚も病の身に堪ゆ得らるべきでは無いさ百合子の希望に任せて大磯なる招仙閣に赴いて靜養する身の上とはなつた。

有繁に暖い湘南の土地も、師走の空は又格別で二三日以來寒暖計が十五六度の間に降るほどの寒氣であつた爲に、百合子が日毎の樂に眺めて、一日も早く蕾の開かんことを願ひつゝあつた庭前の梅花も、其の優しい唇を固く結んだのであつたが、今日はまた打つて變つた、風の無い溫かな天氣となつたので、樓上の欄干近くまで進み出で、朗かなる四方の景氣を眺て恍惚として居つたが、俄に、

「母樣、私あんまり好い天氣ですから、草履を穿いて斯々ど前方の松のある所まで散歩して來ますよ。」

母は眼を瞬つて、

「まア、何を思ひ出して那樣ことを云ひます、昨日なんぞの咳の工合では、奈何なることかと、私甚麽に心配したか知れやしないよ、あんな所まで歩行ますか。」

「大丈夫ですよ、昨日はあんまり寒かつたからですが、今日は全然生れ變つた程宜いのですもの……。」

「そりや、氣が進むで行つて見たいと云ふなら、何も保養だから行つて見るも可いけれど誰かに案內して貰はなきやあ第一道が分らないでせう。」

「いゝえ、道は能く知つてますの……敏男さんと、一緒に度々散步したのです。」

「では、私從いて往てあげやうかね、一人で行つて若かの事があつてはならんから。」

「可ござんすよ私が任意に一人ブラ〳〵と步いて見たいんですから……。」

槇子も、氣に逆らふは病のためならずと思へば、

「では、そろり〳〵と身体に障らんやうに步いてね、成たけ早く歸つて被來いよ。」

「那樣に心配なさらなくても可ござんすよ今日は大層可いのですから……。」

「では、戶外は寒いから其上にもう一枚綿入羽織でも着て被往しやいよ。」

「はあ。」

と、濃紫の矢絣になつた書生羽織と、鳩羽縮緬の紋付の羽織を裝ねて、

「では、些と往つて參りますわ。」

「氣を尾けて被往やいよ。」

「はあ。」

と、百合子は病める人とも思へぬまで勇み立つて樓下に降り而して紅緋緒の草履を穿いて招仙閣を出た。



京城新聞

# 官業政策を排す

韓國政府の產業政策は漸次官業主義に傾き來れり、是れ喜ぶべき現象なる乎、將た悲ふべき事なる乎、余輩は不幸にして官業主義の可なるを見ざるのみならず、產業の發達を害する惡政策と呼ぶに躊躇せざるなり日本人の各部に次官たるより一層此傾向を遠めたる[illegible]の如き觀あるに至ては余輩の最も怪訝に堪へざる所なり、元來統監府の方針が官業主義[illegible]る乎、我が統監府には斯る[illegible]を採る筈はなしと信ずれども、[illegible]現象は官業主義を是認するものゝ如し、果して然りとすれば韓國政府も統監府も誤れるの甚だしきもの也、官業政策の是非は最早理論の時代に非ず、事實は着々として其非なるを曝露して歷々之を證明するにあらずや、遠く例を引證するに及ばず帝國の官業政策を見れば速了することを得べければなり、帝國政府に於ては財政難の爲に[illegible]官業政策を取るに至り[illegible]一として成功したるものなし益々[illegible]弊を擧げつゝあり、之を熟知せる我統[illegible]韓國政府は何故に非なる官業政策を採用せる乎、現に其官業としたるものに好成績のものなく殆ど失敗に瀕せるに非ずや、平壌無烟炭の現況は如何、今や拭ふべからざる失躰を現出し更に民業に移さんとの議あるに非ずや、載寧の鐵鑛は如何、或る日本人と宮內府との間に契約したるものを煩雜なる手數を以て取上げ官業に移したる結果は如何、漸く收支相償ふに過ぎず前途事業を擴張するに於ては收利甚だ困難なりと云ふに非ずや、龍山印刷所の成蹟や如何、今尙は多大の補助をなさゞれば維持し[illegible]に非ずや、紅蔘官業の如きは尙ほ未だ[illegible]なりと雖も、要するに失敗に終るの外なきのみならず、前途其生產の發達を害するに至るべきを恐るゝなり、斯く觀察し來れば何人と雖も官業政策を以て是なりとするものは非ざるべし、由來官業は民業に比して生產費多きが爲に收利少なし而して自由競爭を抑壓する爲に生產の發達を害するなり、晚近社會主義者と稱する輩が總ての產業を官業[illegible]國營とすることを主張する[illegible]是れ一片の理論のみ、實際に之を實行すれば社會の進步は休止すべし、少なくも列國に軍備のある間は到底斯る夢の如き說は行はれざるなり。

韓國の如き開發の途を要する所にては尙更に官業政策は非なり、自由競爭を途絕して進步を壓するは非なり、然るに韓國政府は何故に比較的利益多しと思ふものを擧げて官業とする乎、民間に經營してこそ多少の利益あれども、之を官業として官吏として經營せしむるに於ては冗費多く收支償はざるに至るなり、實例眼前に橫たはれり、韓國政府及統監府は何が爲に此陋政策を採らんとする乎、余輩は當局者に向て官業政策を撤廢するの[illegible]に出でんことを[illegible]勸告するものなり

# 漢城便り

▲此頃の形勢にては民長官選に關する統監府令も其運命大に好敵相成申候右に關する某大官の意見なりとて傳へらるゝところによれば伊藤統監とて此際絕對的に府令の維持に勉めらるゝの不可なるを悟らるべきを以て全然撤廢とは行かざるも何とか合理的の修正は必ず加へらるゝなるべしとの事に御座候

▲合理的の修正とは何を意味し候やは記者の存せざる所に候得共思ふに民選官選混合位のところならんかと被察候併しソレ位の讓步にて已に高度に達したる居留民心の激昂を緩和することを得ば伊藤公に取つてはハいいシキ至極仕合の事と存候但し居留民がソレシキの讓步にて承知致候や否は今日の處大疑問に御座候

▲御用紙の要は爲政者の方針を說明するに反覆丁寧以て民心に入らんことに勉むるが當然ならんと被存候彼の京城日報の如く一知半解の法律論を爲し或は不謹愼なる言辭を弄して民間新聞に挑戰し若しくは居留民を激昂せしめてアンチ統監府のスピリットを盛ならしむるは決して御用紙の本分に無之と存候

▲今後尙京城日報を御用紙として置かるゝならば執筆者を取換へ御用の勉め振を擬ねしむるの必要有之候と存候思ふに現在の儘ならんには寧ろ之を廢して數頭の病犬を飼置くの優れるに如かずと被存候●●●●●●●

▲近來當地の新聞紙に銀行會社決算報告廣告の揭載數が增加したるは當國に於ける經濟產業の組織が確かに近世的に進化しつゝあるを證據立つるものと存候記者は是に依つて半島の前途に光明の存することを確かに認むるものに御座候

▲官立平壌礦業所は無烟炭の拂下げに因つて大々的に官業の弊を曝露致し申候記者は昨冬經濟協會に於て記者の爲したる不祥なる豫言が不幸にして適中したるをいたく悲しむものに御座候

▲第一銀行分課稅の問題も其起りは第一其者と韓政府との間に存する發行特權契約の東洋式なるに胚胎致候事と存候兎角吾人東洋人は中の良い時に於て萬事を大呑込に爲し權利義務を明かにせざるの癖有之候今となりては第一銀行は謹んで度支部の命に服し納稅の義務を果すの外無からんかと被存候尤も特權擁護に就ては道理の法庭に於て堂々爭ふも何の不可無からんかと被存候本件に關し度支、一銀の双方に於て情實に拘泥するの時期は已に已に經過致居候

東京電報

# ▲邦人死刑延期

露領コンマンドルスキー島沖合にて露國密獵監視船の爲め捕へられ浦潮斯德へ護送の途次護衛露兵と衝突しニコライフスクにて死刑の宣告を受けたる遠洋漁業三重丸の乘組員六名は露國政府の命に依り死刑の執行を延期せられたり

# ▲日蘭條約發布

昨日批准交換を了りたる日蘭條約は來週火曜日に發表せらるゝ筈（以上一日發）

# ▲東洋航路と米船

米國の各汽船會社が東洋航路を全廢すべしとの說は確かならず若し右の場合には北獨逸汽船會社にて桑港橫濱間の定期航を開く計畫なりと

# ▲名譽會長推選

帝國教育會は目下來朝中のコッポ博士を名譽會長に推薦したり（以上二日發）

雜報

## ●內閣會議

昨日午後一時より內閣會議を開き漁業法私立學校令並に同附屬法規に就き審議し農商工部より漁業法案說明のため庵原技師生田書記官出席す宋內相は前項警察部長會議のため缺席せり

## ●內部大臣の訓示

昨日の警察部長會議に於ける宋內相の訓示演說は左の如し

今回地方官制及び警察部を改正し道に內務部及び警察部を置き諸君を其の警察部長に補し觀察使を補佐して管下の警察事務を直接監督せしむる事となりたるは我韓國警察制度の刷新改善の上に一步を進めたるものと信ず是より觀察使の上に一層重きを加ふると同時に觀察使を補佐して其の衝に當らるゝ諸君の責任は實に重大にして政務の擧否は一に諸君の勵精黽勉に待たざるを得ず我警察制度は今や其の形式に於て完備せるものゝ如しと雖も其の實績に至りては未だ機關具備し實力充實せるものと認むる事を得ず蓋し警察官吏の人員不足なると敎養の不充分なるとは警察施設上本大臣の最も遺憾とする所なり警察官吏の增員は豫算に伴ふを以て今直に諸君に滿足を與ふることを得ざるも相當の時期を見て增員を計畫し實力の充實に努むる方針なり然れども諸君は可成少數の職員を善用して其の成績を擧げらるゝ事に深く注意せられたし又韓國人警察官吏に在りては警察官吏の本來の職務權限すら理解せず舊制度に於ける巡檢權任總巡の時代を夢想せるもの少からずと思料す其の敎養に努め賞罰を嚴にして官紀の振肅を期せられたし日韓警察官吏が相提携して圓滿に執務し調和を得る事に努めらるゝ事も亦諸君の最も注意を要する事と信ず終に臨み尙一言せざる可らざる事は警察部長と內務部長との關係之なり兩者は何れも觀察使を補佐し恰も車の兩輪に於けるが如く鳥の兩翼に於けるが如き關係を有す能く相提携し圓滿に事を處理し相待て地方行政の實を擧げられたし又地方の狀況及重要の事項に關しては可成敏速に可成周到に報告せらるゝ事を希望す詳細なる事項に至りては次官及び局長より訓示せらるべし尙議事は勿論其の他各道互に相關係する事項は能く其の打合を遂げ警察事項の共同一致を期せられたし

## ●警察部長會議（第一日）

鐵道不通のため延期となり居りし各道警察部長會議は昨日午前十時より開會十三道警察部長及び永谷警視第一課長等出席し內部大臣同次官及び各局長列席し大臣次官局長の訓示演說あり午後一時半散會す尙本日は午前十時開會し法部次官檢事總長軍務部長の訓示及び演說ある筈なり因みに本會議は七日迄五日間の豫定なりと云ふ

## ●開廳したる新裁判所

一日開廳したる大審院京城控訴院京城地方裁判所京城區裁判所は新廳舍の樓下を法廷とし樓上を事務室とし同日より事務の引續ぎに着手し書類調査の上期日を定めて開庭する筈なるが既に開廳當日より續々新事件提起せられつゝありと云ふ

## ●京義線全通

▲臨津江の連絡大貨物の輸送

京義線は客月二十日以來猛烈なる霖雨により山となく川となく溢水氾濫し各所に於ける橋梁の破損、切取の崩壞、線路の決潰等多大の損害を受け遂に各列車の休止となり不通となり一時鐵道便による交通を杜絕さるゝの不得止狀態にありしが鐵道管理局は早くも沿道各所に掛員を派し被害修理の擔當者を定め晝夜兼行の作業を以て極力復舊に努め逐次開通の區間に交通列車を運轉せしめつゝありしが天候漸く恢復すると同時に八月一日夜に至り復舊工事を竣了し翌二日より長端臨津江驛間に在る臨津江落橋を除き全線開通を見るに至れり

## ●各町有志の決議

各町衛生組長たる淸水嘉一、石井新、釘本藤次郎、中島司馬之助、白木爲次郎、石橋利三郎、河村治平、田村義次郎、川本準作、三浦茂三郎、吉川米次郎、小森寅吉、池田長兵衛の諸氏は今回統監府令を以て發布せられたる民長官選問題に就て憤激する所あり各町有志として去る一日本町五丁目釘本藤次郎氏宅に會合し種々協議を凝らしたる上左の決議をなしたり

（一）吾人は統監府令第二十三號を以て隣保團結の舊慣に反し鄕黨の親和を紊し官民の不一致を來すものと認むるに反對の意見を固持す

（二）吾人は該府令に對する民團議員諸氏の態度は適當にして信賴するに足るものと認むるを以て全力を擧げて諸氏の行動に絕對聲援を與ふ

（三）吾人は該府令の下に活動する民團役所補助機關の一部たる衛生組長の職に在るを屑しとせざるを以て衛生組長會を解散し衛生組長の職を辭退す

（四）吾人は町內の便宜を圖る爲め此際町內申合せ組合を設立することを期す

右終て後各自二、三兩日內に辭任屆を民團役所に呈出し併て警察署に其旨を通告し尙各町內に於て決議文第四項を實行することを約して退散す

## ●大韓日報發行停止に就き

同業大韓日報が民長官選問題に付き奮鬪的論議を爲して御用紙を屛息せしめ輿論の喚起に勉めたることは吾人の以て其勞を多とするところなるが今回同紙が發行停止の奇禍を蒙りたるに就ては京龍居留民は一樣に同紙に向つて多大の同情を表しつゝありと云ふ

## ●新式電話交換機

▲京城局電話交換機の改善▼
▲輕易にして利便なる交換機▼

人口の增加と土地の發展に伴ひ交通機關の日を追ふに從つて益々頻繁の域に進み行くは之れ免るべからざる狀勢にして又共に喜ぶべき現象なるが現に當京城郵便局の如きも近頃は一般交通機關の繁忙を告げ來りし中にも特に電話機關に就ての繁忙を見るに至りしはマツ以て居留地の爲め欣ばざるを得ざる所なり而して當郵便局にては近來電話加入者の數著しく增加し殆んで一千人の多數を算するに至りたるを以て從來の單式交換機にては到底之が完全なる所用を辨する能はず從つて加入者に對しても滿足なる利便を與ふることの不可能なるべきを氣遣ひ銳意交換機の改良に腐心し居りしがいよいよ本月一日より米國最新式の復式交換機を据へ付け同時に加入者自宅の交換機をも變更し爰に輕易にして利便多き通話を開始せらるゝに至りたり今ま爲參考當局者の談なりとして左に新舊兩交換機の得失を比較し且新式交換機の如何に功果多きかを記述すべし

交換機法式は二種あり（一）單式交換機（二）復式交換機

▲單式交換機 とは從來當地郵便局に於て使用し居りしものにして又仁川、釜山其他各地にて使用せるものなり本機は加入者數約五六百人位迄は適當なるもそれ以上となるに及んでは非常なる不便を感ずるものなり之れツマリ呼び掛けたる加入者と呼び掛けられたる加入者との交換機に於ける位置の離れ居るときに於ては其の交換手が之の兩者を接續するに當り如何にしても手の屆かざる所より中繼線に由りて更に他の交換手を經て接續せざるべからざる故結局二倍の手數を要するに至れるなり此の中繼線を經て接續する數は加入者數の多きを加ふるに從ひ益々增加するものにしてたとへば加入者六〇〇名位の時は一〇〇の呼數に對し交換手の直ちに接續するものは四〇位にして他の六〇は凡て二人の交換手を經て接續せざるべからず此の如き不便あるにより五、六〇〇人以上に至れば

## ●土石採取法制定と既願者

從來內部又は農商工部にて取扱ひつゝありし土石採取に關する許可を今後は總べて農商工部にて取扱ふ事となり近々土石採取法を制定發布する事は既報の如くなるが既に內部へ出願せしもの及び山林原野產物處分規則に依りて農商工部に出願せしものは新法發布の上更に其の規定により改めて出願せしむる事となるべしと云ふ

## ●裁判所開廳披露會

既報の如く一日午後七時より日本人俱樂部に於て裁判所開廳披露會を開催したるが定刻より曾禰副統監以下統監府の重なる高等官各大臣次官及び重なる高等官長谷川軍司令官及び重なる將校各國領事各裁判所職員其の他百五十餘名の出席あり軍樂隊の奏樂を以て開會し渡邊大審院長の挨拶高法部大臣曾禰副統監の答辭ありて宴に移り韓妓の手踊等ありて頗る盛會なりし

## ●仁川民團議會

仁川民團に於ては來月中旬民會を開き二三重要事件につき審議する筈

## ●朝鮮時報講演會

釜山の有力なる同業者朝鮮時報は今後自ら主催者となりて同地在留の諸名士及日韓來往通過の諸名士を招待して同地居留民の爲に隨時講演會を開かるゝ由なり

## ●法部大臣の招宴

高法部大臣は六日午後六時より來京中の十三道警察部長及び在京城裁判所幹部內部大臣同次官警務局長警視總監法部次官其他等三十餘名を花月に招待し晚餐會を催す

## ●道警察部長の招宴

宋內相は五日午後七時より淸華亭に於て松井警務局長は七日午後七時より日本人俱樂部にて道警察部長を招き晚餐會を催す

## ●宋內相の午餐會

宋內相は歸朝の途次寄京したる久保田滿洲鐵道理事を主賓とし各道警察部長を陪賓とし昨日景福宮內なる慶會樓にて午餐會を開き岡次官、松井局長、丸山警視總監も陪席せり

## ●木內次官の出發

御用之有り出京を命ぜられたる木內農商工部次官は既報の如く昨日午前八時南大門發急行列車にて歸朝の途に上り川上書記官は釜山迄隨行し南大門驛には宋內相、趙農相、副統監代理、佐竹秘書官、佐藤、梅雨博士、藤田軍醫部長、俵學部次官、松井警務局長、丸山警視總監及び內農兩部官吏李一進會長其の他多數の見送人ありたり

## ●仁川商議員辭職

仁川商業會議所議員河野竹之助氏は病氣の爲め辭任を申出たり

## ●山內巡查遺族扶助料

江華島駐劄中暴徒の毒手に斃れたる仁川署山內部長遺族に對し今回韓政府より千五百圓の扶助料及二百圓の吊慰料を下附さる

## ●勞働夜學會の決議

勞働夜學會は本月一日午後同會內に於て總會を開き尹始炳、徐廷柱、金聖基、李輔炫、金泰裕、金炳旭、韓奎錫、孫漢根等三十五名出席前會々議錄を朗讀し左の決議をなせり

一、慈善院を設立する事
一、勞働株式實業會社を設立する事
一、總務尹韓直金光濟兩人を解任する事
一、運輸課を設立する事
一、各課員の俸給は實施後に於て支給する事

## ●一進會の追悼式

昨年來一進會員の暴徒の爲め殺害されし者一千餘名に達せるは既報の如くなるが同會本部にては來る八日午後一時より獨立館に於て之が追悼の式を擧ぐる由

## ●法部移轉

既報の如く法部は一昨日度支部臨時財源調査局前廳舍に移轉し本日より執務し居れり

## 公人私人

▲關谷勇（咸北警察部長）一昨日上京不知火旅館
▲內田虎三郎（佐世保鎭守府參謀海軍少佐）一昨日來京巴城館
▲久保田政周（滿洲鐵道會社理事）一昨日來京天眞樓
▲山添喜代三（醫學士）一昨日來京浦尾旅館
▲島田文之助（平北警察部長）一昨日上京佐伯旅館
▲林文太郎（平壤礦業所長）一昨日平壤へ向け出發

## ●近事片々

▲露國 は淸國々境各地に殖民銀行設置の計畫をなし多數の農業殖民を奬勵せんとす
▲西比 利亞の廣漠たるを後にして淸境に殖民移住の奬勵をなす其志の遠大は感服也
▲反之 韓國に於ける我殖民經營は如何農民多數の移住は韓人の意嚮を害すとなす噫
▲露國 の爲す所往々傍若無人の如くなるも其間に鞏固雄大なる計劃の存するあり矣
▲其爲 す所徒に列國の鼻息のみ覗ふが如きこさなく其爲さんとする所は毅然遂行す
▲露國 が國內常に紛擾堪へざるも其外交往々列國を制肘するが如きも則ち之が爲也
▲間島 問題未だ決せざるに防穀令なるもの布告せらる淸國官憲の暴狀は益加はる也
▲間島 問題は早く決せざれば終に此の問題より大事件を惹起する憂なしとせざる也
▲間島 と云ひ其他總て淸國に對する交涉の面倒なるは抑も淸國の附け上れるに依也
▲日韓 記者懇親會なるもの無期延期せられたり發起者其理由の說明をなさずとは珍
▲昨夏 政變の際濟州島に配されたる朴泳孝期滿ち歸城せらるべしと配所の感慨如何
▲朴氏 に對する宋秉畯君の批評なる者を傳聞するに些と冷酷に過るの觀あらざるか
▲朴氏 が配所の月を見るは自業自得に過ぎざる也と成程政敵としては左もあらん乎
▲曾禰 子の藏相說に次て加藤高明氏の呼聲亦た高くなる淸浦子亦候補の一人と聞く
▲加藤 高明氏は伊隈兩系にして山縣系には些と縁遠し伊藤公の推選でもあるもの乎
▲加藤 氏の財政眼は亦之れ一家の見識を備ふ桂侯にして承諾すれば隨分面白からん
▲加藤 氏は伊東巳代次とは親善なれば或は纒るやも知る可らず新人物として面白し
▲大浦 農相官紀振肅の訓令を出す大浦は嚴正なる循吏也農相として或は成蹟擧らん
▲大浦 が部下に對して人民に接するの注意を促す點抔惜に能く呼吸を解する大臣也
▲今世 紀は憲政流行波斯、土耳其、淸國或は發布し或は準備今後續々他邦にも蔓延せん
▲此勢 を以てすれば世界は擧て憲政國とならん惜て順よく發達するや否が疑問なり
▲米國 インデアナポリスにエリサベスキヤッテイと云ふ傑出せる賢明の夫人ありと
▲此賢 明の夫人を大統領とせばワシントン、リンコルン、今のローズベルト氏に優と
▲若し 男子ならば疾くに世に現はるべけれども而も謙讓淑德の爲に却て現はれずと

## 雜報

●**交換手の勤務方法**　人は酷暑の苦熱に堪へず或は閑雅の地に夏を消し或は清涼の境に午睡を貪る時に當りても頻繁なる交通機關の業に從事する身はナカ〳〵に暑寒の別などの問ふべくもあらねど殊に常住坐臥一時たりとも絶ね間とてはなき電話交通の任に當る係員及び交換手の多忙さは又ナカ〳〵に諒察に値すべきものあり今試みに昨今に於ける當地郵便局交換手の日々の任務及び之が勤務の規則なりといふを聞くに現在交換手の數は總て三十六名にて他に取締三名見習三名あるが市内坐席として八名市外は四名なり而して勤務の方法は午前七時三十分より午後五時に至る迄十二名午前八時より午後五時に至るまで十八名なるが其の十八名の内六名は休息代理として各坐席を順次代理交替せり而して毎一人一時間に二十分宛の休息時間ありと雖も夏季に入りてより一日平均三名宛の病氣缺勤者あるを以て一時間毎に各十五分間づゝの休息時間を與へ居れり以上は日勤者なれども夜勤者は午后五時より勤務に從事し交換閑散なるに從ひ漸次左表の如く減員休息せしむる事となし居れり

| | 自後五時至同六時 | 自六時至八時 | 自八時至三時 | 自〇時至六時 | 自前六時至前七時 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市内席 | 六 | 五 | 四 | 二 | 四 |
| 市外席 | 三 | 二 | 二 | 一 | 二 |
| 休息代理 | 三 | 六 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 就眠 | 〇 | 〇 | 六 | 九 | 〇 |
| 退局 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 六 |

尙ほ日勤と夜勤との交替六名を一組とし六組の全員中前記の勤務方に依り日勤二日夜勤二日の上交替勤務するものとすと

●**歐米人の奸黠**　韓國に在留する歐米人が治外法權を利用して往々不正の利を博するものあるは具眼者の夙に指彈する所なりしが近來歐米人等韓國人と結托し韓人家屋を借入れ茲に賭房を開帳し西洋人は治外法權を有す故に韓國警察官の檢擧に擢るの虞なきは確保する所なりとて韓人をして富豪又は其子弟を誘引せしめ種々奸策を用ひて彼等の財産を騙取するもの屈指に遑あらず傲岸自大文明を以て自ら誇る輩にして斯の如くんば彼等の文明も皮相のみ其心術の醜行は將に唾棄すべきにあらずや聞く鍾路分署は茲に見る所あり多少の韓人を犠牲に供するも無數の良民を其餓鬼の毒牙に委するに忍びずと倣し一昨夜深更南署詩谷獨逸人ダブリユウフライター邸内に開ける賭房の門外及南署長橋米國人カルス邸内に開ける賭房の門外に警吏を潜伏せしめ賭場より歸去する者十數名を引致せりさ此擧良民の相率て犯罪に陷落するを警防するに少補なしとせず他の警察署は之に倣ひて活動すること豈急務ならずさせんや

●**大同支局の豪遊**　遊蕩を以て生命とする大同會支局に於ては去月三十一日午前十時より北署外郊杏洞故李載純の墓所に於て園會を開く筈なりしが墓番は主家の許諾なければとて拒絶せしかば李家と再三交渉の末漸く午後九時開會するに至りたるが來會者は支局長其他三十餘名にて妓生舞童の歌舞をなし翌日午前二時に至り一同は同所に一泊の上同六時歸途に就きたりと

●**仁川病院患者增加**　仁川病院先月中の入院患者數は僅かに十二名に過ぎざりしが氣候不順の爲め今月に至り八名增加し二十名に達したりと

●**傳染病患者**　倭城臺五十七番戸佐久間武夫は腸窒扶斯に罹り八月一日青坡病院に黃金町三番戸柴田瀧三郎は不全窒扶斯に罹り八月二日大韓醫院に何れも入院せり

●**敎師の賭博**　人の師表たるべき敎師だからとて品行を端正にすべしなどとは到底韓人に望むべからざることなれど敎師ともあらうものが賭博にて拘引せらるゝに至りては沙汰の限りなり中署益洞七十統十五戸尹榮燮方住漢城師範學校敎授尹定老(五十)は去月二十八日午後八時頃中署宮洞申哲照方に於て韓百祖外二名と共に金錢を賭け博奕をなしたるを以て中部警察署に拘引せられ目下取調べ中なり

●**開進亭主の狂暴**　去る一日は朝來雨降り續きて其鬱陶しさ云はん方なかりしが旭町三丁目の料理屋開進亭抱への藝妓等辛氣くさいからカルタでも取つて遊ばうではないかと緊急動議を提出したる者あるにぞ何の異議のあるべき滿場一致にて之を賛成したれば立ろに動議は成立し此に花札を持出しハチケン赤よろしいなどゝ夢中になりて居る所を亭主倉田穗藏は之を見て大に怒り理不盡にも抱妓なる下村トメ(二十七)の横頬を黑血の寄る程毆り付けたるにぞトメは其狂暴なる主人の擧動を怒り午後六時南部警察署に駈込み訴へ出でたれば一應穗藏を召喚し嚴しく說諭の上自後此の如き擧動なき樣戒め引取らせたりと

●**醉拂ひョボの亂暴**　墨洞居住韓人金基鎬(三十)なるものは何處で飮んだか去る一日午後十一時三十分頃筆洞五十二統二戸金學敬方に飛び込み無法にも居合せたる金萬金(十七)及び宋統賢(三十)の兩人を木履にて毆打したる爲め金は衣服を破られ宋は頰に打撲を受けたるも双方とも親類の間柄とて學敬が仲裁の勞を取り事濟みとなれり

●**酒からの喧嘩**　南部東山洞統戸不詳金落弘(三十九)及西部阿峴洞居金德東(三十五)の二人は昨日午後二時南部里門洞十九統六戸趙鎮泰なる酒店に至り約一時間餘も飮酒せしが隣室にて先刻より飮み居たる金東爀外三人と口論を初め大立廻りの最中警官が認め取調べたるに酩酊の上の喧嘩と判明說諭

●**文なし士族**　明町久森松太郎方同居岡山縣同市櫓屋町百二十五番地士族網島彌作(三十)は一昨日の夜水樂町一丁目待合貸席嬉野事中野代次郎方二階にて大飮大食したる揚句が例の文なしと來てるから勘定の代りに駄々を揑ねたるので警察署へ突出さる困つた士族ぞのではあるワイ

●**錢なしのハイカラヨボ**　一昨日午後六時中署黃土峴の韓料理明月館に二人のハイカラヨボ一名の妓生を引張り來り大氣取りにて二階に上りアランチヤランなど大陽氣にて散財したる高が十餘圓の勘定となつたのでサア勘定といふ段になりて文なしとあるから二人のヨボ若青くなり懷中を探れどない錢は矢張りなく仕方がないから附近の交番に届出でたれば巡査出張し取調べたるに非常に酩酊し居れば醉の醒めたる上請求すべしとて立去つた其後如何なりしか知らねど此ヨボは長洞百八統三戸居閔明植、崔榮根と云ふ兩ハイカラなりしと引張られたる妓生こそ好い面の皮なりし

●**鴉片自殺**　靑橋百四十一統十戸金光目方延春和(五七)なる者一日午前五時二十分自宅にて鴉片を飮み自殺を企てたるも死にきれず苦しみ居るを家人發見し直に手當を施したるも二日午前九時遂に死亡せり原因は三月以前よりの病症を苦にしたるものならんと云ふ

●**荷車盗賊**　中署管内銅峴統戸不詳申完植所有荷車一個は五月卅日夜何者に盗まれたるか不知より爾來日夜捜査中の處昨日午前一時銅峴派出所前を挽き來る竹洞十統朴主事の下男兪順根なるものありよく〳〵見れば覺えある曾て盗まれたる所有の車なるより直に警官に訴へたる處私は中署中谷中順甫なるものより大枚六圓を投じて求めたるものなりと強情張つて白狀せざるより警察署に引致し嚴しく取調べたる處眞赤な虛なりしより其儘留置

●**赤褌のョダレ**　昨日の午前九時頃であつた本町三丁目の赤褌の蓑店の前を通りかゝつたのはドウ見ても素人とは見へぬ新町邊の黑人らしきが朝陰に身を避けて其步みも何となく遲々として色褪た洋傘を賴りに持つ其風情や如何に赤褌の心を惱ませし恰かも睡より醒されたらんが如くに頰杖した椅子を離れて見惚れたる狀に此方の女も只呆然と見やれば將毆愈よ悅に入り莞爾として片言交りの日本語にて何やらん囀べりながらニコ〳〵と跡は涎三千丈

●**放れ駒**　昨日午前八時警官が筆洞を巡廻中一頭の馬放れ來りしかば直ちに引捕へ警察署へ留置しあるが此馬は多分軍馬ならんと

●**新町覗き**　例の通り二日夜ぶら〳〵と新町覗きに行つた散歩がてらの素見がらはら來て居るけれども何れも金のなさうな顏ばかりど某樓の仲居がこぼし居たん客引く仲居の聲とアイスクリームの觸れ聲と相和していやに物寂しく聞へるのも妙である本町通りの食器に因みのある商店の番公が春樓の娼妓と連りにイチヤついて居ると直其横に大和町邊りでよく見る一寸つたオ安くない仲らしい井戸端に佇立んで遊皮のむけた十七八の素人娘が來て暫く彼所から離れろふもないこんな處へ而も夜更けて一人で何にしに來たであろうかと怪まずには居られなかつた△本町通りで常に顏を合はす男が三人濟月樓へ這入りて仲居と何か騷いで居たすると仲居は心得顏に敵娼の鹿野子を呼むだ聲に應じて鹿野子は二階から駈け降りて商店男を引張り揚げ樣とする商店男はコレ一番色男の腕前を見せる積りか友を促がして第一樓へ行ふとじらすを仲居が連りに止める連れの一人も實際彼の妓が可愛想だからそんな罪な事はよせと氣をきかして鹿野子へ同情を寄せるけれ共商店男は俺迄もじらす心か一向に應せぬ殘りの一人は此の一場の喜劇に魂を奪はれて呆然として見て居たのは頗る奇觀であつた△第一の本店では妓夫の政ドンが罷口したとかで嫖客が大變怒りて政ドンを盛んに罵倒して居た理屈は客にあるらしい一体此の政ドン性來頗る附きの醜男なる上オマケに少しも愛嬌がないこんな人好きのせぬ奴を店へ出して置くなどゝは人氣娼貴に似合ぬ樓主の不注意だこんな横着野郎をして客と應接させて置ては行きたい客も行かない樣になる繁榮を計る氣があるならこんな惡性男は絕對に店へ出さぬ樣にするがよい(覗き見生)

●**朝鮮(第六號)**　裝釘の如何にも夏向きにして淸楚なるは一見目先きを放ばしむ内容は名士の韓人觀にマツ特種の異彩を放ち「靜かなる七月」に觀察の峭拔を誇り其の他論說實業資料雜纂等何れも優勢ならざるはなく優に昨今の惰心を攪破せしむるに足るべし全頁九十二記事多く趣味に富み出でゝいよ〳〵活躍の實を擧げつゝあり編輯者の勞は蓋し鮮少にあらざるべし(二十錢京城本町日韓書房發行)



●**本町座の替狂言**　同座今晚の替狂言は一番目「琵琶歌」三目番「電氣仕掛千本櫻」にして役割は左の如し
花浦菊枝(今井)母れ辰(石巻)下女れ代(伊東)家扶六兵衛(葉山)百姓太平(土居)侍女れ節(岡島)武田貞次(田宮)父正次(南郷)江島春麿(中川)あば熊(小泉)西村れひろ(寺西)西村禮太(秋山)書生大川(佐藤)村の者(喜多)里野(三浦)女中松野(四位の)荒井三造(白川)

●**天氣豫報**(自三日午後六時至四日午後六時)
晴但驟雨
三日午前六時各地氣象概況
靜穩にして晴曇相半し京仁は霧を生せり

## 老妓 茶羅次の身上話（五）

◎滊車の中で布團

見ると青切符を持つて横濱へですか何なら御一所に致しましようといはれた時には流石によはりましたよ夫も服裝でもひどいのなら格別借物にしろ大丸髷のピカづくり黒縮緬の羽織か何かで如何したつて見掛けは赤切符の玉とは受け取れ無いのですからモウ今更妾達は赤切符ですからといつて斷はられもせず仕方無しに何に鳥渡尋ねる人がありますのでと一寸のがれをいつて春五郎さんに別れ人ごみにまぎれ急いで下等室に乘り込んぢまいましたが一時はハラ〳〵もんでした。其うちに滊車は横濱に着きましたが下等室で腰を痛めちもう懲な事があつてはと其頭費つてたフンドウのついてる布團――一錢イヤ確二錢でしたらうドーを買つて敷いてたのですが何にも御存じの無い二人は其儘客車へ置けば宜いのを知らずに此れは何でも出る時掛りの者に返さなきやいけないのだらうと早合點をしてきまりの惡い思ひをしながら羽織の下に隱して室を出て五六間ばかり歩いたかと思ふと、若し〳〵女房さ呼び止められました此れだから布團が無くなつて仕様が無い毎日中闘々しいにも程があらア、とまるで泥棒か何ぞの樣な言ひ草なのでしよう此方も癪にさわりましたが子實に正直に掛りの者に渡さうと思つて持ち出したものをソンナに言はなくつても宜いぢやア無いかなんかれ極りの惡言葉に買言葉で押問答が始まると黒山の樣に人はたかる巡査さんは來るといふ仕末あげくの果が手帳に宿所番地を書きつけられてヤツされ放しになりましたがホウ〳〵の體で停車場を飛び出し目差す富貴樓さんへ驅け込むと女將がいきなり大變遅いぢやア無いかといふのでしようハイ滊車が少々後れましてと何喰はぬ顏で挨拶をすると何滊車が後るものか噓ばつかりお前達は泥棒なんだらう我家の弟が布團屋の元締をして居るからどうに事實は知れて居るよと私があかつちまつたには閉口しましたよ。

遊興をなすつて入らつしやる方は一生のうち一ツや二ツの失策話はキットお有りなさるもんですが妾の樣にノベタラに縁無しと來た日にやア恐れますよ重野（博士）さんの御伴をして浦和の先の大宮公園へ參つた事がムいましたが子後處は閑靜鳥渡宜い所です子食事が濟んだなら其處いらをぶらつかうて事になり御家族總立ちで例の池の廻りをたどりながらソロ〳〵と社殿の前に出ましたから妾は特勝らしく腰をかゞめて兩掌を合せ惡事災難を免れます樣稼業繁昌を致しますよ樣一生金錢に不自由を致しません樣と欲が欲張つて居りますから種々な事をれ願申しました



●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲壹ヶ年前金四圓（郵税一ヶ月金拾參錢）
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新聞社 電話六六三番